

■道路案内標識における英語表記について～外国人旅行者にも分かりやすい道路の案内標識へ～

国土交通省は観光立国の実現に向け、道路案内標識が外国人旅行者にも分かりやすいものとなるよう、国会周辺を対象に英語表記に改善する取組を実施していますが、観光地域を対象に、道路案内標識の英字表記の取組を拡大するとの発表がありましたのでお知らせします。

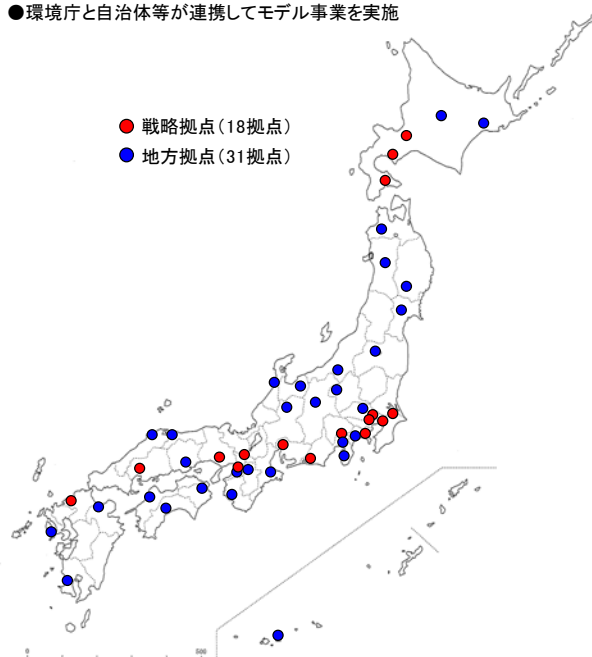
「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」における 戦略拠点・地方拠点

戦略拠点 (18拠点)	地方拠点 (31拠点)	
札幌	富良野	伊勢志摩
函館	釧路・弟子屈	奈良
登別	弘前	田辺・白浜
成田	田沢湖・角館	鳴門・南あわじ
浦安	平泉	高知
押上・業平橋 ^{※1}	仙台・松島	鳥取県西部
秋葉原	会津若松	倉敷
銀座	草津	松江
蒲田 ^{※2}	川越	松山
横浜	鎌倉	長崎
富士河口湖・笛吹	箱根・湯河原・熱海	別府
浜松	湯沢	鹿児島
名古屋	立山黒部	八重山
京都	松本	
大阪	金沢	
神戸	南伊豆	
広島	高山	
福岡	泉佐野	

※1 スカイツリー周辺
 ※2 羽田空港周辺

訪日外国人旅行者の受入環境整備事業

- 意欲のある自治体から、訪日外国人旅行者の受入環境整備に必要な取組を提案募集し、有識者の検討会において、受入環境整備の「戦略拠点」及び「地方拠点」を選定
- 環境庁と自治体等が連携してモデル事業を実施



日本語	英語
〇〇駅(前・入口)	〇〇 Sta.
〇〇小学校(前)	〇〇 Elem. School
〇〇中学校(前)	〇〇 J.H. School
〇〇高等学校(前)	〇〇 High School
〇〇郵便局(前)	〇〇 Post Office
〇〇病院(前)	〇〇 Hospital
〇〇正門(前)	〇〇 Main Gate
〇〇通り	〇〇 Ave. 〇〇St. 〇〇Blvd. のいずれか
〇〇記念館(前)	〇〇 Museum
〇〇公園(前・入口)	〇〇 Park
〇〇橋	〇〇 Brg.
〇〇県庁(都・道・府)	〇〇 Pref. Office
〇〇市役所	〇〇 City Office
〇〇美術館(前)	〇〇 Art Museum
〇〇山	Mt.〇〇
〇〇川	〇〇 Riv.

1. はじめに

本業務は、有料道路の無料化後に渋滞状況が悪化した周辺道路の交通状況を調査し、渋滞対策の検討を行ったものです。

2. 問題点・課題

有料道路の無料化により、これまで1ルートだった交通が複数ルートの選択を可能としました。この影響により周辺交差点で新たな渋滞が発生するようになりました。また、渋滞の出現する時間帯が平日・休日で異なる状況であったため、平日・休日毎の適切な渋滞対策の検討が求められました。

3. 検討

交通渋滞対策は「道路交通技術必携2007」によると下記2点の対策内容が示されています。

- ① 流入交通量を減らす(需要交通を減少させる)
- ② 交差点の交通容量を増やす(ボトルネックの容量を増加させる)

しかし、流入交通量を減らす対策は、代替ルートとなる路線は渋滞も発生する状況であり、当該交差点は慢性的に需要があるためピークシフトも難しい状況です。また、代替公共交通も当該地区を通るバスルートがない等の理由により流入交通量を減らす方法は難しい状況でした。

そこで、交差点の交通容量を増やす対策を検討しました。交差点の改良や、交差点のコンパクト化などは多大な費用や時間が掛かり、要求されている期間内での実施が不可能であったため、信号現示の改良を検討しました(渋滞がない方向から渋滞がある方向へ青時間を移動させ交通容量を増加させる)。信号の制御は警察で行っているため警察との協議が必要ですが、費用も掛からず即時的な対応が可能であったためこの施策を提案しました。

4. 結果

当該地域に見合った渋滞対策を実施し、効果の検証も行うことができました。検証結果については、平日は渋滞緩和効果が得られましたが、休日は渋滞がある方向で渋滞緩和効果が得られたものの、渋滞がない方向で新たな渋滞が発生し課題が残る結果となってしまいました。

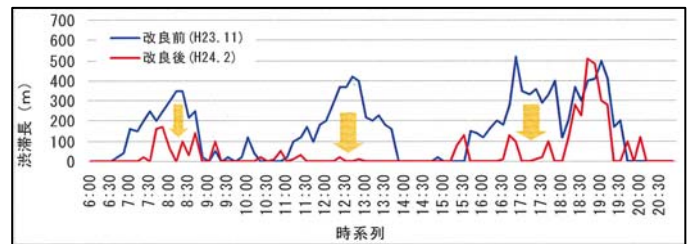


図-1 平日の渋滞発生状況

5. 現時点の評価と課題

交通流は、周辺の道路状況や新規集客施設の開業、倉庫等の集積施設の開設など、さまざまな要因を受けて日々変化するものです。当該交差点でも、これらの交通流の変化事象をしっかりと捉え、今後の渋滞対策を行っていかねばならないと考えます。



図-2 休日の渋滞発生状況